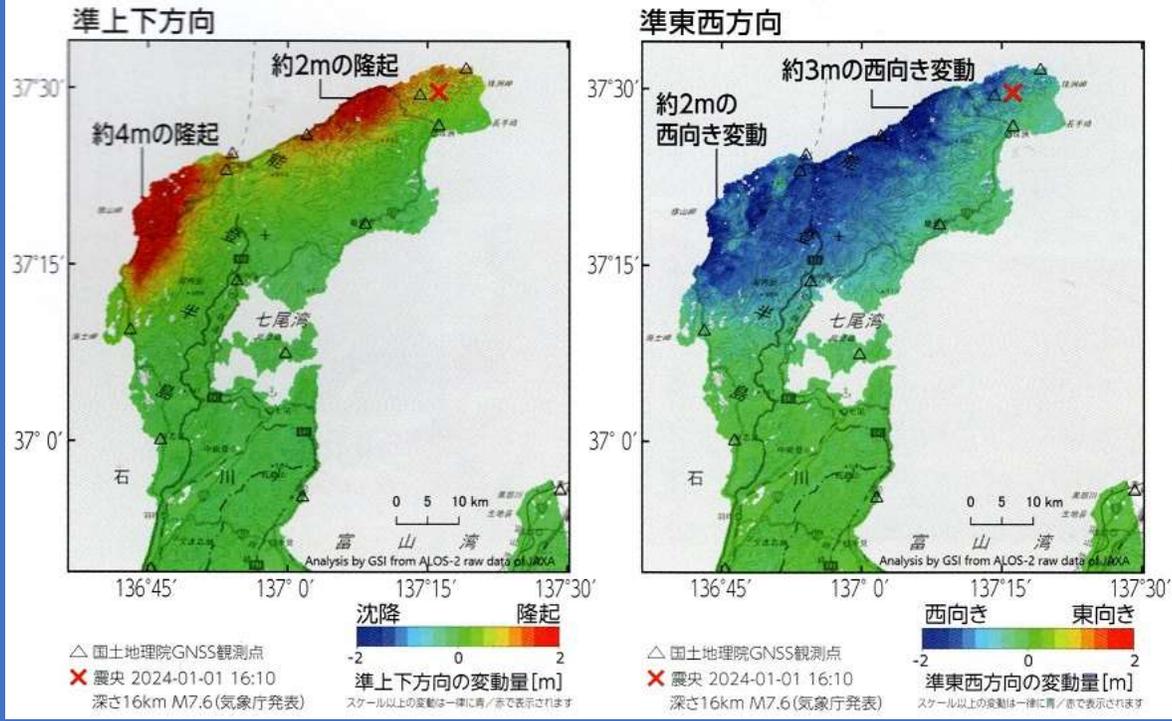


輪島市門前町黒島漁港の隆起  
 同じ門前町鹿磯漁港では約4mの隆起を確認

## 令和6年能登半島地震に伴う地殻変動

(「だいち2号」観測データの解析による。2024年1月19日更新)



《資料と解説は東北大学 遠田晋次教授による》

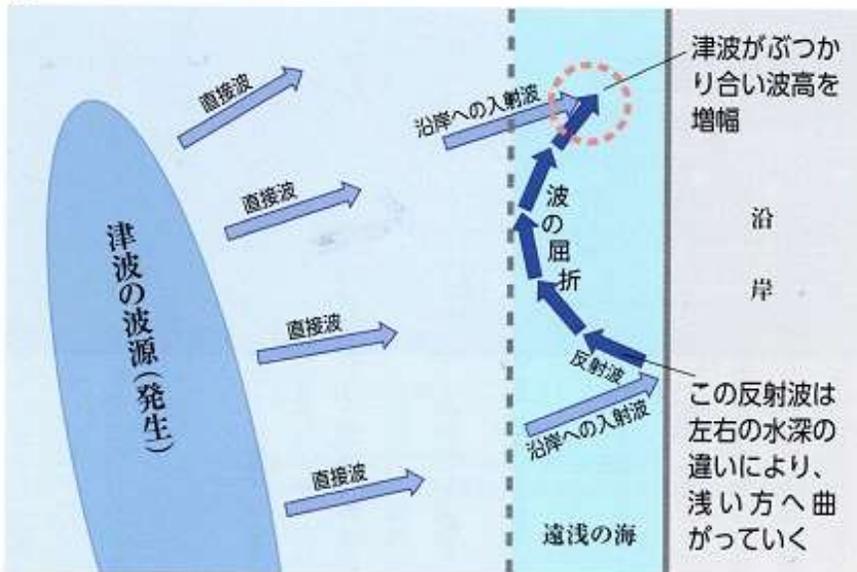
# 能登半島隆起のメカニズム 能登半島地震は何度でも繰り返す！

今回の逆断層型の地震では、能登半島の地盤が全体的に隆起したのではなく、輪島市や珠洲市の外浦側が隆起した。一方、能登町や穴水町などの内浦側は変動がほぼなく、能登島はむしろ30センチ程度沈降した。高い輪島市側から低い穴水町側に向かって地盤が傾く地殻変動が起きた。

## 陸棚を回り込む津波

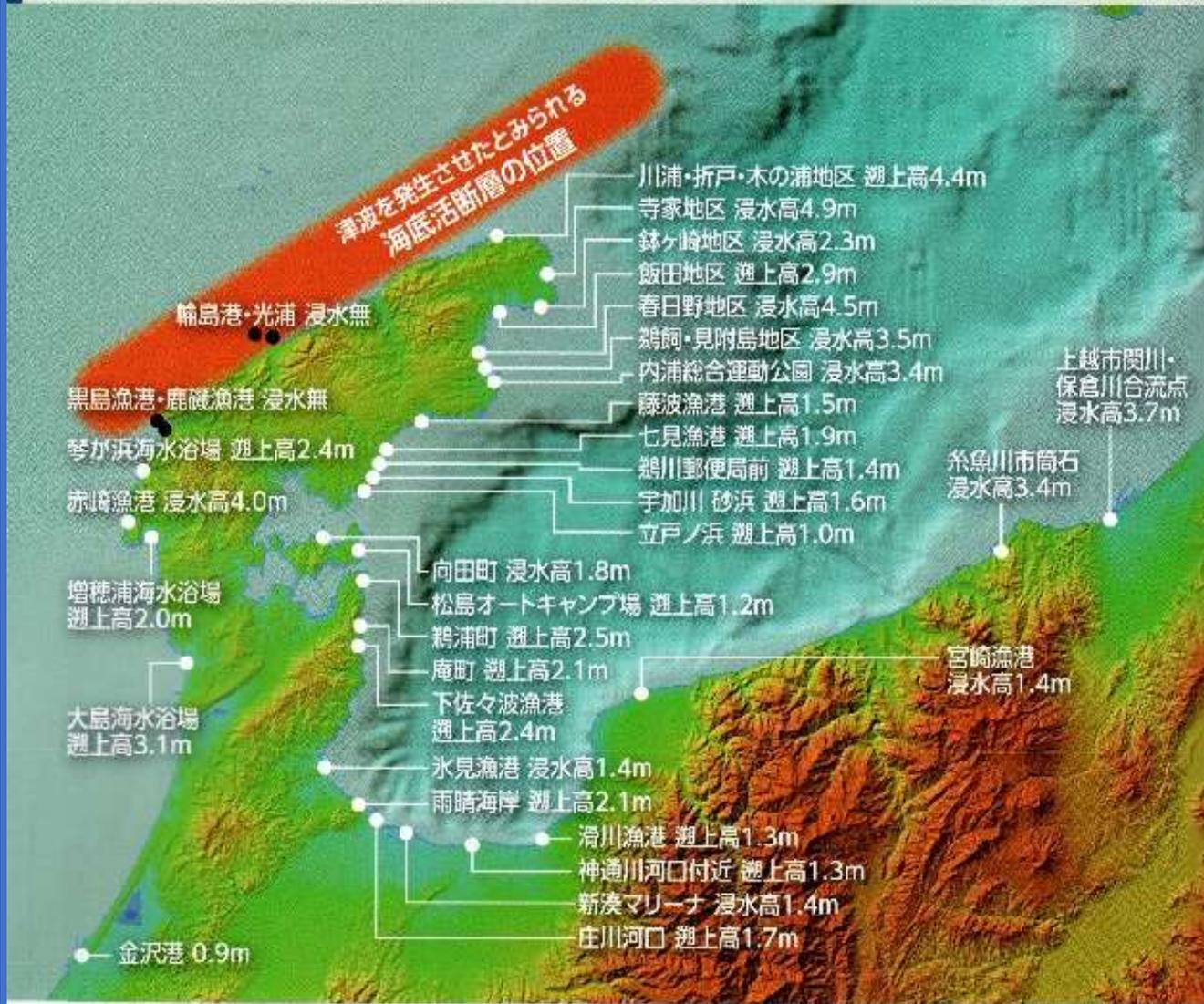


## 遠浅の海岸で波高を増幅する津波



東北大学災害科学国際研究所資料をもとに作成

## 各地の津波の高さ



遡上高：津波が海岸に到達後、陸地をはい上がり、最も高くなったところの海面からの高さ  
 浸水高：建物等に残された浸水痕跡の海面からの高さ

(公社)土木学会 海洋工学委員会主催「令和6年前登半島地震津波に関する調査報告書」(2024年1月27日開催)の「津波被害に関する現地調査報告書」での報告数値から遡上高と浸水高をよとのためのものである。ただし、調査地点が記載している場合は省略したところがある。  
 金沢港は気象庁の発表数値。

# 津波の分布と生成メカニズム

《資料と解説は金沢大学 由比政年教授による》

# 今回の能登半島地震のいくつかの特徴的な被害について

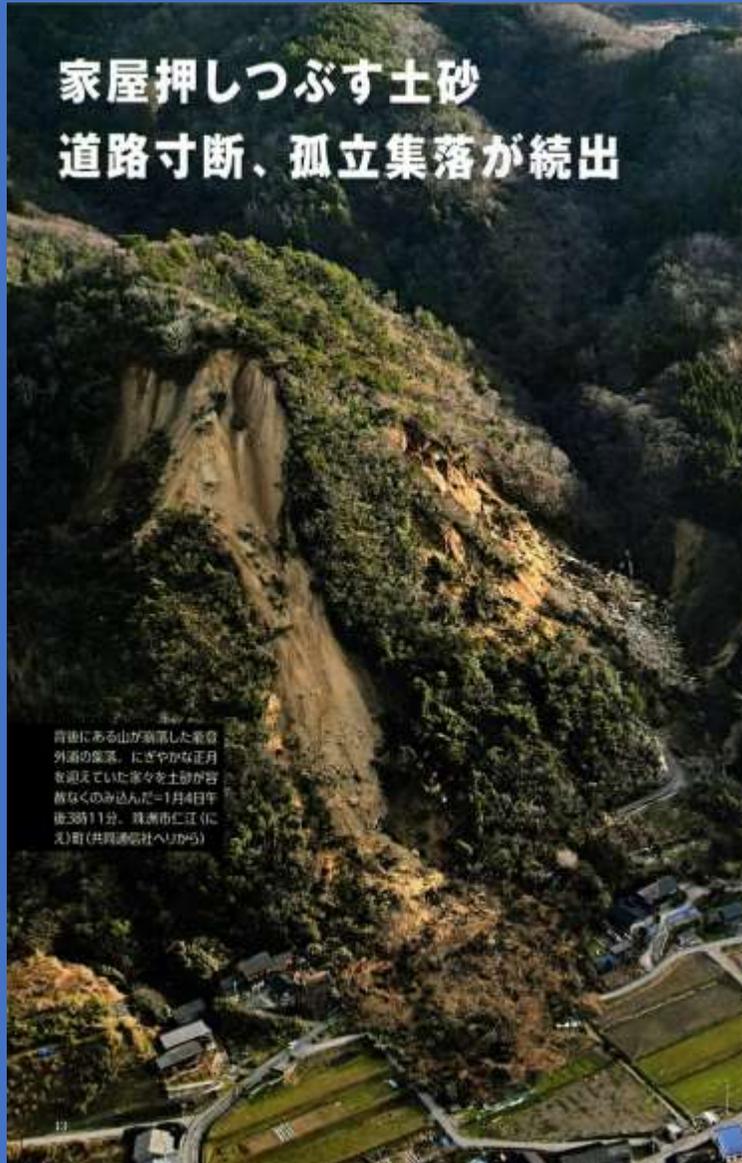


建物の形を崩し、形元から倒れた輪島漆の老舗「玉島屋」のビル=1月2日正午(ドローンから)



崩れに手をあて、呆然とする人。奥では救助作業が続く=1月2日午前8時、輪島市河井町

輪島市河井町のビル転倒(上)と下敷きとなった木造家屋(下)



家屋押しつぶす土砂  
道路寸断、孤立集落が続出

背後にある山が崩落した家や  
列道の家々。にぎやかな正月  
を祝っていた家々を土砂が呑  
み込んでしまった=1月4日午  
後3時11分、珠洲市仁江(に  
え)町(共同通信社ヘリから)

能登外浦(珠洲市仁江町)の山体崩落で周辺の集落は孤立化



道路が崩れ、埋壊した家屋=1月2日午前8  
時半、金沢市田上新町(ドローンから)

宅造地の斜面崩壊に巻き込まれた住宅(金沢市田上新町)

# 砂地盤の液状化と側方流動による被害

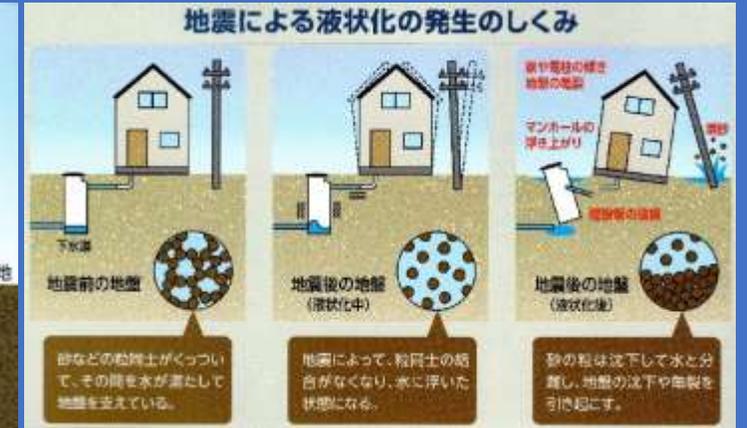
《資料と解説は金沢大学 塚脇真二教授による》



砂丘側からの側方流動で押し出された道路(内灘町西荒屋)



側方流動の発生メカニズム



砂地盤液状化の概念図



側方流動に押された道路(内灘町西荒屋)



液状化により傾いた道路と建物(内灘町西荒屋)



液状化によって1階の半分が地盤に沈んだビル(内灘町西荒屋)